

農業部門

重点研究目標

ア.技術革新で創造する強い農業経営の確立

イ.消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

ウ.環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

エ.愛知の強みを生かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

研究事項

・高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発
 ・競争力の高い低コスト生産技術の開発
 ・生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発
 ・次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

・消費者・需要者のニーズに応える生産技術の開発
 ・安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

・環境に配慮した持続的農業技術の開発
 ・地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発
 ・中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

・競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発
 ・全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発
 ・日本一の花き産地を支える品種の開発
 ・多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発
 ・愛知のブランド力を高める系統豚・名古屋コーチン系統の開発



スマートフォンの画面



GPSレベラー装着トラクターの活用技術の開発



散水による茶の害虫防除技術の開発(左下は対象害虫チャノミドリヒメヨコバイ)



名古屋コーチンの肉や卵のおいしさを引き出す技術の開発



小水力発電システムの現地適応性技術の評価



露地畑における緑肥導入による窒素減肥技術の開発



鳥獣害防止技術の開発(軽トラで運搬可能な罟)



低温伸長性・低温開花性を有するキク品種の開発(有望系統)



大果で早生性・炭疽病抵抗性を備えた多収性イチゴ品種の開発(右下は罹病株)



施設内環境のモニタリングと制御による増収技術の開発



凍結受精卵を用いた産子生産技術の開発



LAMP法による現地病害診断技術の開発(右下写真中左チューブが陽性反応)



繁殖性に優れた大ヨークシャー種の開発



業務・加工向け多収性品種の開発(右下:柔らかさを持続する米粉パン用品種)